



令和6年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光 (TEL) 06-6635-0201
 四半期報告書提出予定日 令和5年11月8日 配当支払開始予定日 令和5年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績 (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	23,936	△0.3	2,973	△12.3	3,292	△12.1	2,382	△8.8
5年3月期第2四半期	24,011	19.6	3,389	21.7	3,746	26.3	2,614	18.3

(注) 包括利益 6年3月期第2四半期 3,037百万円(12.5%) 5年3月期第2四半期 2,700百万円(23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	306.89	—
5年3月期第2四半期	336.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第2四半期	68,166	52,682	77.2	6,777.83
5年3月期	65,761	50,732	77.1	6,527.42

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 52,626百万円 5年3月期 50,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	40.00	—	140.00	180.00
6年3月期	—	80.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	90.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	47,000	△3.5	5,600	△16.8	5,800	△19.2	4,000	△24.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

6年3月期2Q	7,766,380株	5年3月期	7,766,380株
6年3月期2Q	1,909株	5年3月期	1,395株
6年3月期2Q	7,764,798株	5年3月期2Q	7,765,914株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による物価上昇の影響を受けながらも、賃金の伸び率が拡大したため、個人消費は外食や宿泊サービスなどへの支出が増加しております。またインバウンド需要の順調な回復もあり、景気は緩やかに回復してきております。

しかしながら、ウクライナ情勢は依然として長期化しており、欧米における金融引き締め継続や中国においては国内需要低迷による景気の減速感が高まっており、世界的な景気後退への警戒感が強まりつつあります。

当社グループが属しておりますステンレス業界では、実需の回復がまだら模様で市場在庫は過剰感が継続しております。加えて8月の連休明け以降、ニッケル市況は一段と弱含みとなり、その影響を受け荷動きは低調となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は239億36百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。前年同四半期に比べ販売単価は上昇しましたが、販売数量の減少等により、売上高は若干減少しております。収益面におきましては、生産高の減少や材料価格の低下に伴い棚卸評価差益が剥落したため、営業利益は29億73百万円（前年同四半期比12.3%減）、経常利益は32億92百万円（前年同四半期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億82百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日本)

日本事業の売上高は227億22百万円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント営業利益は28億79百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、自動車用は前年同四半期と比べてメーカーの生産回復により数量が増加しましたが、配管量は数量が減少したため、売上高は130億14百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて数量が若干減少しましたが、製品価格の上昇により、売上高は57億65百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が振るわず、売上高は4億85百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の需要が低迷し、販売数量が減少したため、売上高は31億27百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

機械部門は、取引先の設備投資意欲が戻りつつあり、売上高は3億29百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、3年ぶりにコロナ規制が解除され、レバラン休暇時に郷里への帰省が可能となったため、二輪車需要は回復し、二輪車向けの数量は大幅に増加いたしました。また四輪車につきましては、昨年8月から9月にかけて四輪車メーカーの新機種立ち上げ時期と重なり、販売数量が一時的に大きく増加しましたが、当期は新機種向けの販売量も落ち着き、販売数量は減少となりました。売上高は12億14百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント営業利益は販売価格と材料価格のスプレッドが縮小したため93百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)		前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	13,058	54.4	13,014	54.4	26,446	54.3
ステンレス条鋼	5,468	22.8	5,765	24.1	11,156	22.9
ステンレス加工品	641	2.7	485	2.0	1,253	2.6
鋼管	3,542	14.7	3,127	13.0	6,814	14.0
機械	291	1.2	329	1.4	686	1.4
インドネシア	1,006	4.2	1,214	5.1	2,354	4.8
合計	24,011	100.0	23,936	100.0	48,712	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は681億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億5百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加22億30百万円、棚卸資産の減少11億72百万円、投資その他の資産（その他）の増加7億63百万円などです。負債の部は154億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億55百万円増加いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少14億60百万円、電子記録債務の増加14億60百万円、流動負債（その他）の増加3億7百万円などです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は526億82百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億50百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が12億96百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が6億45百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.1ポイント上昇し、77.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間は、ニッケル市場が下落傾向となり、材料価格が低下する中、想定よりも販売価格が下げ止まったため、スプレッドの確保ができたこと等の増益要因が重なり、予想を上回る業績となりました。通期の業績予想につきましては、令和5年10月23日に第2四半期連結累計期間の業績予想の修正とあわせ「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますのでご参照ください。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,329	16,559
受取手形及び売掛金	9,750	9,609
電子記録債権	6,186	6,525
棚卸資産	13,118	11,946
その他	158	167
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	43,527	44,790
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,950	8,003
その他(純額)	7,743	8,070
有形固定資産合計	15,694	16,073
無形固定資産		
その他	66	65
無形固定資産合計	66	65
投資その他の資産		
その他	6,482	7,245
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,474	7,236
固定資産合計	22,234	23,375
資産合計	65,761	68,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838	2,378
電子記録債務	4,358	5,818
短期借入金	670	536
未払法人税等	1,284	1,074
賞与引当金	380	417
その他	1,754	2,061
流動負債合計	12,287	12,286
固定負債		
長期借入金	1,300	1,524
役員退職慰労引当金	171	178
執行役員退職慰労引当金	25	29
退職給付に係る負債	177	171
その他	1,067	1,293
固定負債合計	2,741	3,197
負債合計	15,028	15,483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	34,107	35,403
自己株式	△0	△0
株主資本合計	48,617	49,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,266	1,764
為替換算調整勘定	715	864
退職給付に係る調整累計額	86	84
その他の包括利益累計額合計	2,068	2,713
非支配株主持分	47	56
純資産合計	50,732	52,682
負債純資産合計	65,761	68,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	24,011	23,936
売上原価	18,039	18,224
売上総利益	5,971	5,711
販売費及び一般管理費	2,582	2,738
営業利益	3,389	2,973
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	55	108
持分法による投資利益	77	84
為替差益	204	99
その他	25	28
営業外収益合計	366	329
営業外費用		
支払利息	5	6
その他	3	3
営業外費用合計	8	9
経常利益	3,746	3,292
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	109
特別利益合計	0	109
特別損失		
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	3,746	3,400
法人税、住民税及び事業税	1,108	999
法人税等調整額	21	15
法人税等合計	1,129	1,014
四半期純利益	2,617	2,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,614	2,382

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	2,617	2,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	498
為替換算調整勘定	147	127
退職給付に係る調整額	3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	20	26
その他の包括利益合計	83	651
四半期包括利益	2,700	3,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,690	3,028
非支配株主に係る四半期包括利益	10	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,004	1,006	24,011	—	24,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,004	1,006	24,011	—	24,011
セグメント利益	3,277	110	3,388	0	3,389

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,722	1,214	23,936	—	23,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,722	1,214	23,936	—	23,936
セグメント利益	2,879	93	2,973	0	2,973

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

令和5年10月31日

モリ工業株式会社

令和6年3月期 第2四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.9.末	増減		前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.9.末	増減
流動資産	43,527	44,790	1,263	流動負債	12,287	12,286	△1
現金及び預金	14,329	16,559	2,230	支払手形及び買掛金	8,197	8,196	△1
受取手形及び売掛金	15,937	16,134	197	短期借入金	670	536	△134
棚卸資産	13,118	11,946	△1,172	未払法人税等	1,284	1,074	△210
その他	141	149	8	引当金	380	417	37
				その他	1,754	2,061	307
固定資産	22,234	23,375	1,141	固定負債	2,741	3,197	456
有形固定資産	15,694	16,073	379	長期借入金	1,300	1,524	224
土地	7,950	8,003	53	役員退職慰労引当金	171	178	7
その他	7,743	8,070	327	執行役員退職慰労引当金	25	29	4
				繰延税金負債	767	993	226
無形固定資産	66	65	△1	その他	477	472	△5
投資その他の資産	6,474	7,236	762	負債合計	15,028	15,483	455
投資有価証券	3,942	4,607	665	純資産	50,732	52,682	1,950
退職給付に係る資産	1,536	1,555	19	株主資本	48,617	49,912	1,295
その他	995	1,073	78	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
				利益剰余金	34,107	35,403	1,296
				自己株式	△0	△0	△0
				その他の包括利益累計額	2,068	2,713	645
				非支配株主持分	47	56	9
資産合計	65,761	68,166	2,405	負債・純資産合計	65,761	68,166	2,405

2. 棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第2四半期	当第2四半期	増減
棚卸資産回転月数	3.29	2.99	△0.30

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
379	758	507	0	128
日本 (283)	(745)	(462)	(0)	(—)
インドネシア (96)	(13)	(45)	(0)	(128)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R5.3.末	当四半期末 R5.9.末	増減
有利子負債①	1,979	2,069	90
現預金等換金性のもの②	14,329	16,559	2,230
実質有利子負債①-②	△12,350	△14,490	△2,140

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 R4.4-R4.9	百分比 %	当第2四半期 R5.4-R5.9	百分比 %	増減
売上高	24,011	100.0	23,936	100.0	△75
売上原価	18,039	75.1	18,224	76.1	185
売上総利益	5,971	24.9	5,711	23.9	△260
販売費及び一般管理費	2,582	10.8	2,738	11.5	156
営業利益	3,389	14.1	2,973	12.4	△416
営業外収益	366	1.5	329	1.4	△37
受取利息	3		7		
受取配当金	55		108		
持分法投資利益	77		84		
為替差益	204		99		
その他	25		28		
営業外費用	8	0.0	9	0.0	1
支払利息	5		6		
その他	3		3		
経常利益	3,746	15.6	3,292	13.8	△454
特別利益	0	0.0	109	0.4	109
固定資産売却益	0		—		
投資有価証券売却益	—		109		
特別損失	0	0.0	2	0.0	2
固定資産除却損	0		2		
税引前四半期純利益	3,746	15.6	3,400	14.2	△346
法人税等	1,129	4.7	1,014	4.2	△115
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0.0	2	0.0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,614	10.9	2,382	10.0	△232

6. 当第2四半期の経常利益増減要因(前第2四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 変動費率の減少	762	1. 生産金額(量・価格含む)の減少	△204
2. その他	86	2. 固定費の増加	△177
		3. 為替差損益	△104
		4. 棚卸評価差損益	△817
計	848	計	△1,302
		差引	△454